

# 事業報告書



特定非営利活動法人 W・I・N・G-路をはこぶ

the Way Into the New Generation !

W・I・N・G !

**2003 年度**

## 事業期間

2003年4月1日 ~ 2004年3月31日

## 事業の成果

### 《非営利活動》

#### 【ホームヘルパー派遣事業】

2003年4月より障害者支援費制度がスタートしました。当法人は前年度より大阪市ホームヘルプ事業の委託により障害者・児宅にヘルパーを派遣していましたが、支援費制度となって利用者数が急増。その対応に追われた一年でした。

特に児童宅への派遣が増えました。養護学校などで保護者の口コミにより当法人を知り、派遣を希望される方が多いのが特徴で、これまでの活動が評価さ



れたものとうれしく自己評価しました。その一方、急なキャンセルや曜日変更も多く、ヘルパーの派遣が計画に基づくものであることを理解していただくのに四苦八苦しました。

また、児童の派遣世帯からは、夏休み、冬休みなど長期休暇の対応について要望が多くありました。長期休暇に入ると、ケアのために家族の負担が増える一方、障害児を託する場所がほとんどないことや、支援費制度はこのようなケースを想定しておらず、時間数の面からも対応できない点です。このため当法人では、制度によらないフリースペースを設置し、これらの課題の解決を図ることとしました。

一方、派遣世帯は、大阪市内全域で約90世帯（身体、知的、児童含）にのびりました。利用者に対するケアはもちろんのこと、保護者への対応、変更時の対応、行政や医療機関など第三者機関との調整も含め、スタッフにとっても日々勉強の1年でした。

また、支援費制度の導入によって、ヘルパー記録はもちろんのこと、支援費に請求書作成業務などの事務作業量が多くなりました。請求ミスも散見され、今後、こうした事務作業の効率化が課題となりました。

## 【デイサービス事業】

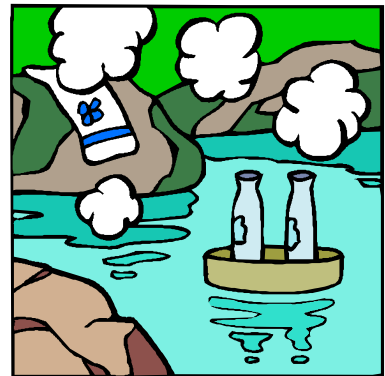
2003年4月より、西成区で「デイサービスゆめとべ」、福島区で「デイサービスさくら」を開所しました。

利用状況は、社会福祉法人ゆうのゆうの通所者を中心に順調に進みました。利用者数は約50人。利用希望の問い合わせは多いものの、定員の問題から断らざるを得ない状況です。

一方、運営面では、支援費単価が低く、いずれも赤字でした。ホームヘルパー派遣事業との単価格差が大きく、デイサービス事業単体で黒字化するのは不可能と思わざるを得ない単価設定です。

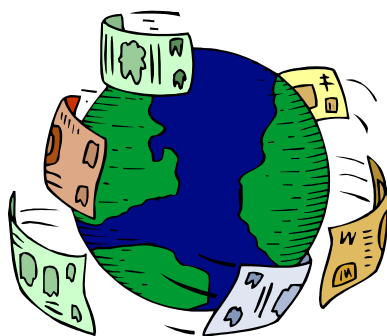
しかし、ヘルパーの自宅訪問による入浴介助ではなく、大きいお風呂での入浴を希望される方が多く、来年度は都島区に新たにデイサービス施設の設置を計画しています。

行政に対しては、デイサービス事業単体で黒字の運営ができるような単価改定が強く求められます。



## 【国際交流事業】

ワーキングホリデー制度を利用して来日した外国人青年の受け入れも4年目を迎えました。今年度は、韓国人8人（男性4人、女性4人）、カナダ人1人（男性）を受け入れました。欧米圏の青年の多くが英語教師を選択するなか、英語圏ではない韓国人が活動場所を探すのはなかなか困難です。このような社会状況を反映して、これまで私たちの受け入れも韓国人が主でした。しかし、今年は、「英語教師はいつでもできる。日本語で日本人と接したい」というカナダ人スタッフの受け入れを行うことができ、これまでになく幅が広がりました。



一方、ワーキングホリデーの期間を終え、帰国した元スタッフの再来日が相次ぎました。学生の場合は、夏休みなどの長期休暇を、また社会人の場合には日本への出張を利用して再訪問を果たしてくれました。このように帰国したスタッフとの再会は、利用者、スタッフともに大変うれしく、日々の活動の励みにもなっています。

## 【小規模作業所、小規模通所授産施設への支援】

今年度は、支援費制度がスタートし、運営状況の行方が不透明だったため昨年行った旅行の支援は見送りました。来年度は、積極的な支援を行いたいと考えていますが、税務上、このような支援が当法人の経費として認められるのか否かという点について、マスコミ報道等を見るとはっきりしません。しかし、日中活動、運営面での支援、アドバイスは今年度も積極的に行い、安定した運営に向け、一定程度の成果をあげることができました。

## 【新卒採用・中途採用】

支援費制度を利用して、ヘルパー派遣を希望する世帯が急増したことから、今後も派遣世帯の増加が予想されるため、今年度はスタッフの採用を積極的に行いました。

4月に新卒学生二人を採用。以後、中途採用は8人。また7月、11月、2月に新卒学生を主な対象として採用試験を実施し、計8人に内定通知を出しました。3月から各施設やヘルパー派遣先において実習を行いました。



## 【フリースペース Tamariba (たまり場)】

ヘルパー派遣先のうち児童については、保護者等より夏休みや冬休みなど長期休暇中の日中の過ごし方について、相談を受ける機会が増えました。児童は支援費の支給量が比較的小さいため長期休暇をカバーすることができないため、家族への負担が増加する結果となっており、その対応が課題となりました。

当法人運営の施設には、デイサービスがありますが、身体障害者を対象としており、児童の受け入れができません。そこで、支援費制度の枠にとらわれない自由な活動のできる場所として、フリースペースの開設を決めました。

西成区の民間マンション1階部分(約140㎡)を賃貸し、フローリングなどの改修工事を行いました。若いスタッフを中心に委員会を設け、フリースペースの利用方法について検討を始めました。障害者・児にこだわらず、高齢者や外国人、地域住民も利用できる様々な活動を行う予定です。



=写真 「ポンキッキーズ 21」(フジ系)レギュラー出演者のJ A Y E 公山さんがフリースペースでコンサートを開催

## 【グループホーム準備施設】

デイサービス施設に通所する利用者、保護者らを中心に、「保護者が高齢化するなか、“もしも”のための施設が欲しい」との要望が従来よりありました。

重症心身障害者に対する食事介助や排泄介助等の支援は、習得までに一定の時間を要することもあり、保護者らの間では、「よく知らないスタッフがケア、



運営する入所施設に行くよりも、よく見知ったスタッフの運営するグループホームが」という意見が多いのが現状です。

そこで今年度より、スタッフと保護者の有志からなる委員会を設けました。ここでグループホームの設置を検討しましたが、重症心身障害者を対象としたグループホームは、運営費補助やスタッフの確保などで解決しなければならない問題が多いため、本格的なグループホームの設置の前に、簡易的な宿泊専用施設を設けるという結論に達しました。

そこでの宿泊訓練を通じて、利用者・保護者・スタッフが本格的なグループホーム設置に向けた課題を探り、その解決方法を模索しようというものです。施設は、西成区の民間住宅1階部分に設け、改修費用は保護者会の積立金、後援会の支援を受けることとしました。

片方の保護者が亡くなり、グループホームへの入居が現実味を帯びる利用者も出てくるなか、本格的なグループホームの設置が急務となっています。

## 【講師派遣】

他法人が行うガイドヘルパー養成講座に対し、講師派遣を行いました。重症心身障害者はもちろん、同障害者の地域支援に取り組む当法人の存在を、多くの方に知っていただく良い機会ととらえ、エールネットワーク専門学校(大阪市浪速区)が行う「全身性障害者移動介護従事者養成研修」のうち、「重度肢体



不自由者における障害の理解」「コミュニケーション」「事故防止に関する心掛けと対策」の3講座を受け持ちました。

3人の講師を派遣し、先生という立場ではありましたが、毎回大変勉強になりました。



来年度は、同専門学校に加え、別の福祉学校からも講師派遣の依頼があり、派遣を予定しています。

## 《営利活動》

### 【リサイクルショップ】



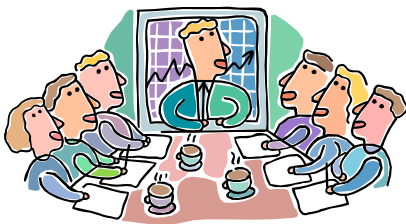
昨年移転、地域での認知度が低かったものの、月を追うごとに存在が知られるようになりました。今年度後半には、古着などを持ち込んでくれる地域住民も見られるようになり、これに比例して、売り上げも徐々に増えました。

インターネットなども利用した販売も行いましたが、継続が難しく、売り上げに大きな貢献をするまでには至っていません。

## 社員総会の開催状況

名 称：「特定非営利活動法人 W・I・N・G-路をはこぶ総会」  
日 時：2003年4月2日（水）  
場 所：西成区民センター大ホール  
正会員数：73人  
出席者数：67人  
議 案：第1号議案 2002年度決算報告  
第2号議案 2003年度予算報告  
第3号議案 支援費制度の指定事業者認可  
第4号議案 議事録署名人  
審議結果：全議案について、出席者全員の承認、賛成を得られた。

名 称：「特定非営利活動法人 W・I・N・G-路をはこぶ総会」  
日 時：2003年12月19日（金）  
場 所：西成区民センター大ホール  
正会員数：73人  
出席者数：65人  
議 案：第1号議案 都島区へのデイサービス設置



第2号議案 フリースペース、グループホーム準備施設の設置  
第3号議案 議事録署名人  
審議結果：全議案について、出席者全員の承認、賛成を得られた。

名 称：「特定非営利活動法人 W・I・N・G-路をはこぶ総会」  
日 時：2004年4月2日（金）  
場 所：西成区民センター大ホール  
正会員数：78人  
出席者数：74人  
議 案：第1号議案 定款の変更（従たる事務所の廃止）  
第2号議案 2003年度決算  
第3号議案 2004年度予算

#### 第4号議案 議事録署名人

審議結果：全議案について、出席者全員の承認、賛成を得られた。

#### 理事会の開催状況

日時	出席者	議案	審議結果
2003年5月23日	6人	2002年度決算 03年度採用試験	全議案承認
6月27日	6人	就職フェア参加 夏休み	全議案承認
7月25日	6人	旅行について	全議案承認
9月26日	6人	フリースペース	全議案承認
10月24日	6人	冬休み	全議案承認
11月26日	6人	クリスマス会	全議案承認
12月26日	6人	クリスマス会 講師派遣 「輪」見学会	全議案承認
2004年1月23日	6人	「輪」準備施設	全議案承認
2月23日	6人	エール学園 デイサービス都島	全議案承認
3月24日	6人	2004年度予算	全議案承認
4月2日	6人	2003年度決算	全議案承認
4月22日	6人	講師派遣 夏季休暇 支援費制度改正	全議案承認

